

公安委員会定例会議(第1回)の開催状況

第1 日 時 令和7年1月15日(水)

午後2時07分 ~ 午後4時50分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和6年第32回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

(3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(4) 審査請求の申立て

警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。

(5) 監査委員による監査の実施

警務部から、監査委員による監査の実施について伺いがあり了承した。

(6) 社交飲食店に係る処分量定

生活安全部から、社交飲食店に係る処分量定について伺いがあり了承した。

(7) 公安委員会表彰の決裁

交通部から、公安委員会表彰の決裁について伺いがあり了承した。

(8) 愛媛県警察関係事務手数料条例の一部改正

交通部から、愛媛県警察関係事務手数料条例の一部改正について伺いがあり了承した。

(9) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、17件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 「第18回愛媛県警察音楽隊ふれ愛コンサート」開催予定

総務室長から、「第18回愛媛県警察音楽隊ふれ愛コンサート」開催予定について報告があった。

委員から、「音楽隊のコンサートの雰囲気は多くの市民にとって心地良いものだと思う。今回のコンサートについても期待しているので頑張

っていただきたい」との発言があった。

委員から、「音楽隊のコンサートは、皆さんの懸命な努力により県民におなじみで、楽しみにしている人が多いほか、警察活動に対する理解を深める意味でも重要である。訓練の成果を発揮して、楽しいコンサートにしていきたい」との発言があった。

委員から、「何度か音楽隊のコンサートに出席したが、楽しい時間を過ごさせてもらった。今回は中高生との合同演奏を企画していると伺ったが、双方にとってメリットがある取組であり、期待している」との発言があった。

(2) 令和7年春季人事異動の日程

警務部長から、令和7年春季人事異動の日程について報告があった。

委員から、「人事異動に伴い、お世話になった方が異動したり、退職したりする方もいると思うが、感謝の気持ちを持って送り出したい」との発言があった。

委員から、「適材適所の配置に努め、職員が気持ちよく仕事ができ、県警察として最高のパフォーマンスを発揮できる人事異動をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「人事異動は、人生の中でも大きな出来事の一つである。職員の士気が上がるような人事異動に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(3) 令和7年度組織改編の概要

警務部長から、令和7年度組織改編の概要について報告があった。

委員から、「組織改編によって新しい取組を導入することは良いことだと思う。県民のニーズに対応できるよう、新たな部署の設置やIT化を推進していきたい」との発言があった。

委員から、「犯罪の質に変化がみられる中、時代に即した組織改編で改善を図ることは重要である。県民の安全・安心や利便性の向上に資する組織改編をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「組織は生き物と同じで、変えないと硬直してしまうことから、時代に即した組織改編を実施していきたい。また、育児や介護など、様々な事情を抱える職員の要望ができるだけ叶う組織改編になることを期待している」との発言があった。

(4) 令和6年中の特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺被害の現状と抑止対策

刑事部長から、令和6年中の特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺被害の現状と抑止対策について報告があった。

委員から、「SNS型投資・ロマンス詐欺は、詐欺の被害金を取り戻す口実でさらに金をだまし取る悪質な事案も散見され、懸念している。被害金額も大きいことから、徹底した取締りをお願いしたい」との発言があった。

委員から、「特殊詐欺等は年々巧妙化している。メディアが報じても、私は大丈夫と思っている人がまだまだ多い。組織を挙げた取組やAIなどの先端技術を活用し、抑止対策に全力で努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「愛媛県でも被害が多いことに驚いた。60歳以上の高齢者がだまされやすい傾向にあることから、金融機関等と連携した抑止対策や他県警察と連携した捜査により首謀者の検挙を目指していただきたい」との発言があった。

(5) 令和6年中の交通事故概要

交通部長から、令和6年中の交通事故概要について報告があった。

委員から、「年末の寒い時期に街頭活動で交通事故抑止に従事された職員に敬意を表したい。高齢者の交通死亡事故が依然として多いことから、各種対策を講じて高齢者の交通死亡事故抑止に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「安全性能が向上している四輪に比べて、自転車やバイクの水路転落や路面逸脱等の単独事故も目立つことから、二輪車に対する取組を推進いただきたい」との発言があった。

委員から、「自転車の事故も一歩間違えば大事故につながることから、ヘルメット着用の重要性を粘り強く訴えていくことが必要である。大人や高齢者のヘルメット着用率が向上すれば死傷者数の減少につながると思うので、引き続き対策を講じていただきたい」との発言があった。

(6) 伊方発電所での陸上自衛隊及び海上保安庁との共同実動訓練の実施

警備部長から、伊方発電所での陸上自衛隊及び海上保安庁との共同実動訓練の実施について報告があった。

委員から、「自衛隊や海上保安庁を巻き込んで連携を図りつつ実動訓練に取り組んだことは意義がある。引き続き良好な関係構築や連携をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「他機関と合同訓練を実施することによって気付くことも多い。それぞれの特性を生かして臨んだ今回の訓練によって、様々な気づきがあったと思うので、課題を改善し精度の高い訓練につなげていただきたい」との発言があった。

委員から、「警察、自衛隊、海上保安庁は、それぞれ鉄壁な組織だと思うが、連携した場合の指揮・調整となると難しい面があると思う。緊急時に瞬時に対応できるよう、各機関が連携し実効性のある訓練をお願いしたい」との発言があった。

(7) 初任科第187期卒業式の実施

警察学校長から、初任科第187期卒業式の実施について報告があった。

委員から、「これまでに何度も警察学校の入校式、卒業式に出席してきたが、卒業時には学生がたくましくなっており頼もしく感じた。卒業後、第一線での活躍を祈念している」との発言があった。

委員から、「卒業して社会に出ていくわけだが、まだまだこれから上級のカリキュラムがあると聞いている。卒業生には優しく、時に厳しく接し、立派な警察官に育てていただきたい」との発言があった。

委員から、「学生の卒業を祝福し、今後の活躍を祈って送り出したい」との発言があった。

(8) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関して報告があった。

3 その他
なし。

以 上